

世界のマイスターのポートフォリオ構築について

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)

愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)

追加型投信/内外/資産複合

2020年11月27日

平素より「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」(以下、世界のマイスター)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。「世界のマイスター」は2020年10月30日より設定・運用を開始しており、主要投資対象として「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ(JPY)」(以下、当ファンド)はポートフォリオの構築を進めています。本レポートではポートフォリオ構築のポイントにつきまして、運用委託先であるピムコジャパンリミテッドのコメントをご紹介します。

- ◆ 当ファンドは下値を抑制しつつ中長期で着実に収益を積み上げることを目標として、ダイナミックなアロケーション調整を行うことで「中長期で負けない運用」を目指します。

1 守りを固めつつ、「徐々に攻めの割合を引き上げ」

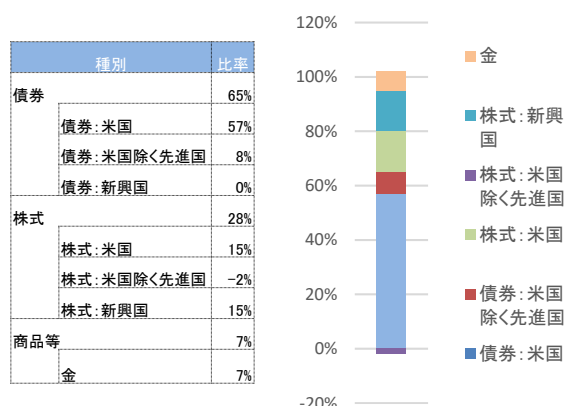
【株式への投資比率を徐々に引き上げつつ、債券部分では守りを固める】

- ▶ PIMCOの戦略(2016年2月運用開始)と致しましては、コロナショック以降、10~20%前後での株式組入れとしていた一方、足元ではマーケットの不透明感が徐々に解消される中、新たな景気回復のサイクルの始まりを捉えるため、株式比率を引き上げており、当ファンドでは30%近くの株式組入れにしています。また、米大統領選やワクチン開発の進展など不透明感の払しょくに合わせて株式比率を引き上げています。ただし、債券部分については安全性の高い国債を中心とした債券比率を高めとし、守りを重視しています。

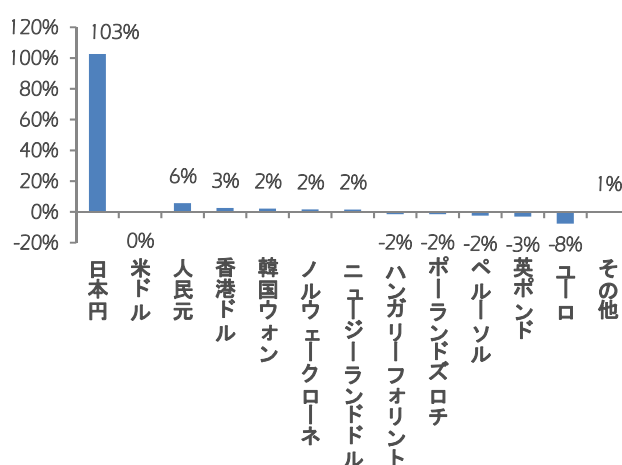
【PIMCOの実績あるマクロ経済見通しに基づき、アジア新興国への積極姿勢、欧州への消極姿勢を構築】

- ▶ 新型コロナウイルスの感染抑制にいち早く成功し、経済活動の再開とコロナ禍に強いハイテク産業に強みを有するアジア新興国については、株式・通貨ともにポジティブな姿勢としています。一方、感染の再拡大が続き景気回復に遅れがみられるユーロ圏については、株式および通貨ともにショート・ポジション(売り持ち)にするなど、PIMCOの実績あるマクロ経済見通しをポートフォリオに大きく反映させています。

【資産別構成比率】



【通貨別投資比率】



※資産別構成比率、通貨別投資比率は2020年11月13日時点

※資産別構成比率、通貨別投資比率は当ファンドが保有する実質的な組入証券等から算出しています。なお、資産別構成比率はロングポジションとショートポジションを合算したネットの比率が記載されています。通貨別投資比率は米ドル売り円買いのヘッジ比率調整後です。日本円はヘッジ分に加えて、現物の保有資産、および通貨戦略による買い持ち分等が含まれているため、100%を超えています。米ドルはヘッジ分と現物の保有資産分等が相殺されているため、0%近辺の数値となっております。P4に掲載しております。参考: 当ファンドにおける為替リスクの考え方(イメージ)をご参照ください。

(出所): ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■ 本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

2 市場概況および今後の展望について

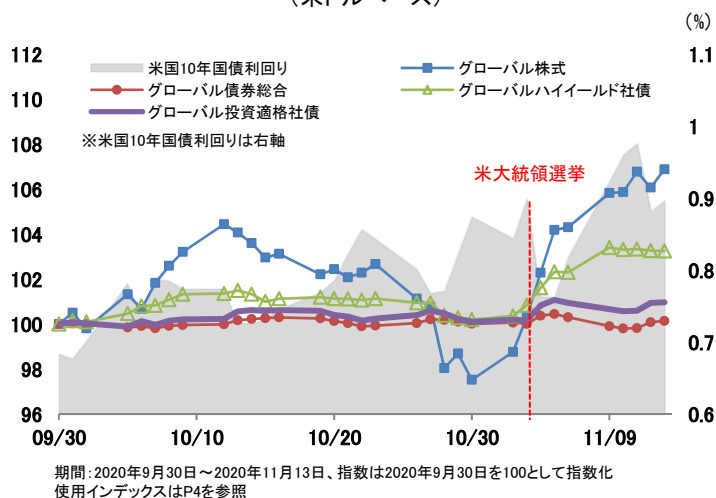
【市場概況:米大統領選をこなしリスクオンへ】

- ▶ 11月に入り、米大統領選の不透明感が一服したことや、米製薬会社による新型コロナウイルスに対するワクチン開発が進展したとの報道などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退、株式を中心にリスク資産は大きく上昇しました。

【今後の展望:短期的に明るい材料は増加も、慎重に状況を注視】

- ▶ ワクチン開発の進展にかかる報道は大きな支援材料となりました。ただし、足元で欧米を中心に感染が再拡大しており経済への下押しが懸念され、米大統領選がバイデン氏の勝利に終わった一方、上下院では「ねじれ議会」の継続が見込まれるため、財政刺激策が小規模に留まる可能性については引き続き注意が必要と考えています。

【足元の各資産の推移】
(米ドルベース)



(出所): ビムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

3 「変化を乗り越えられる企業」を株式投資テーマに

【日米中の株式を選択的に組み入れ、欧州株式に対してはショート・ポジションを維持】

- ▶ 感染再拡大など不透明要因が残存する環境下、株式につきましては日米中を中心に確信度の高い投資テーマについてバスケットを活用し積極的に投資する一方、景気見通しが悪化している欧州などについては売り建てを活用することでリスク量をコントロールしています。

【株式バスケット投資のテーマは「変化を乗り越えられる企業」に】

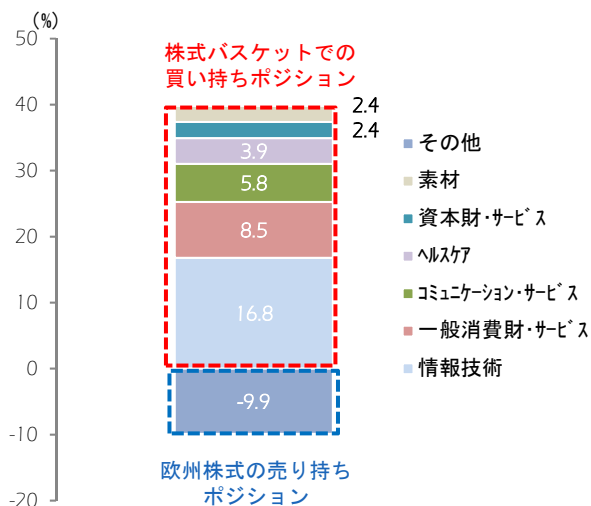
- ▶ PIMCOの戦略では、これまでブルーチップ系企業(次頁参照)の銘柄群がアウトパフォームすると考え、日本/米国株クオリティ・バスケットへの投資を重視していたものの、足元では景気循環が新たなサイクルに入りつつある中で、回復局面を捉える投資としてシクリカル2.0・バスケットへと徐々にシフトしています。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

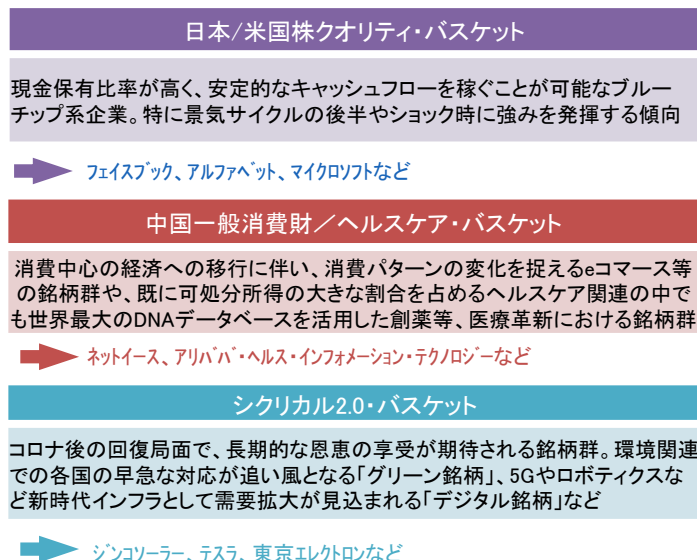
■ 本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
追加型投信/内外/資産複合

【株式部分におけるセクター内訳】



【株式バスケットの事例】



※株式部分におけるセクター内訳、株式バスケットの事例は2020年11月13日時点

※株式部分におけるセクター内訳の比率は、当ファンドが保有する実質的な組入証券等から算出しています。

(出所):ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

注:特定の有価証券及び発行体についての記載はご説明のための例であり、それら有価証券等の売買の勧誘や推奨を目的とするものではありません。PIMCOは記載された有価証券等を保有している場合がありますが、その場合において当該証券等を保有し続けることを表明するものではありません。

4 低金利環境をチャンスに変える「金投資」

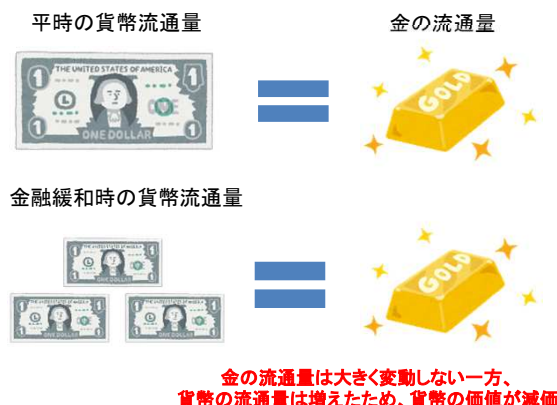
【未曾有の金融緩和政策が生み出す金価値の上昇】

- リーマン・ショック時やコロナ・ショック時のように大規模な金融緩和政策が実施される局面においては、主要国の金利が大きく低下し膨大な貨幣量が流通するため、産出量に限界があり流通量が大きく変動しない金の価値は相対的に向上しやすい傾向にあります。

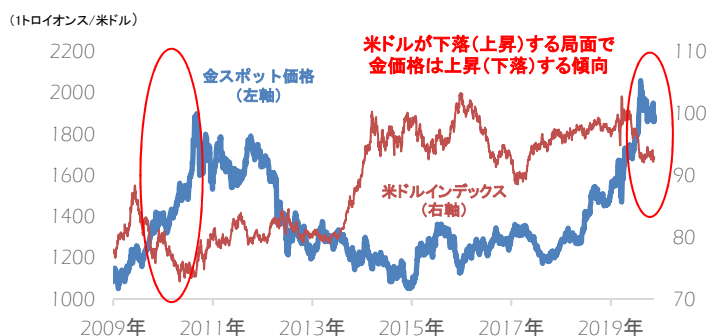
【歴史的に金価格は米ドルと逆相関の傾向】

- 米ドル金利が長期にわたって低位に留まると想定される中、投資家にとっては米ドルの減価に伴う資産価格の下落リスクが懸念になります。金価格は、米ドル通貨が下落する局面で堅調に推移する傾向があり、米ドル資産と持ち合わせることでヘッジ効果が期待できます。

【貨幣の流通量と金の関係性(イメージ)】



【米ドルインデックスと金スポット価格の推移】



期間:2009年末~2020年11月13日

(出所):ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

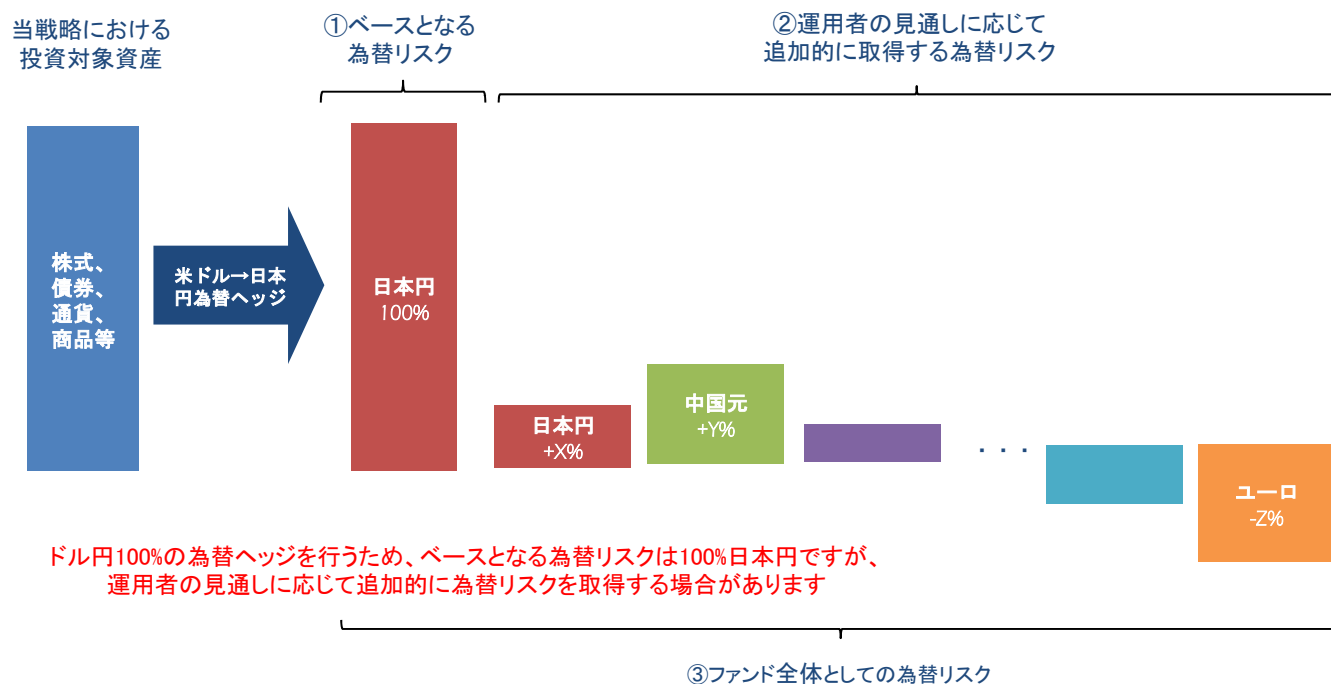
注:見通し及び意見は今後予告なく変更されることがあります。過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

参考:当ファンドにおける為替リスクの考え方(イメージ)



当資料において使用したインデックス、データについて

グローバル株式:MSCI オールカントリーワールドインデックス 米ドルヘッジ
 グローバル債券総合:ブルームバーグ・バークレイズ グローバル総合指数 米ドルヘッジ
 グローバル投資適格社債:ブルームバーグ・バークレイズ グローバルクレジット指数 米ドルヘッジ
 グローバルハイイールド社債:ブルームバーグ・バークレイズ グローバルハイイールド債指数 米ドルヘッジ

上記のMSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式、債券、通貨、商品および不動産関連の証券等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできないため、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「債券価格変動リスク」、「商品価格変動リスク」、「不動産関連の証券の価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カウンターリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンド目的・特色」、「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限2.2%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.848%（税抜1.68%）

※当ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬はかからないため、実質的な運用管理費用（信託報酬）も上記と同じとなります。

- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産で負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)